



(福井)

福井・西太郎丸遺跡

西太郎丸遺跡の調査は、「文化の森」建設事業に伴う発掘調査で、春江町教育委員会が福井県教育庁埋蔵文化財調査センターの協力を得て実施したものである。

- 所在地 福井県坂井郡春江町西太郎丸
- 調査期間 一九九三(平5)九月~一月
- 発掘機関 春江町教育委員会・福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

4 調査担当者

長谷川秀夫(春江町)・工藤俊樹・中森敏晴(福井県)

5 遺跡の種類

集落跡

6 遺跡の年代

六世紀~一四世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

春江町は、福井市の北に隣接し、坂井平野の南側、九頭龍川下流右岸にある。

西太郎丸遺跡は、春江町の中央部、役場近くに位置している。遺跡の立地は、磯部川と西太郎丸集落に挟まれた水田地帯である。標高四~五m前後を測る。

遺物の出土量は、整理用コンテナに約100箱ほどである。内容的には須恵器、土師器が大半を占め、特に土師質小皿が多い。木製品としては漆塗椀・皿、下駄などがあり、他に石器や種子類が出ている。土器類では、他に青磁・白磁や、越前焼・珠洲焼も若干含まれている。

8 木簡の釈文・内容

(1) □ □ + □ [々]

(95) × (625) × 9 081

木簡は調査区東側にある律令期の井戸一から出土した。「十」以外は不明確である。木簡のもつ意味は、判然としない。

(中臣順)

